

2024年2月現在



MAZDA 46G

補修塗装工程

クロマックス® センタリベースコート

AN AXALTA COATING SYSTEMS BRAND

2024年2月現在



MAZDA 46G

**補修塗装工程 ブロック塗装
クロマックス® センタリベースコート**

AN AXALTA COATING SYSTEMS BRAND

MAZDA 46G 補修塗装工程ブロック塗装

・カラーマッチング精度を高める為、カラーベースはXB仕様、メタリックベースはAB仕様の特別な配合となります。



脱脂クリーニング:

クロマックス®クリーニング剤でクリーニング後、エアブロー・タッククロスで清掃。



サフェーサー塗装:

NS260x ノンサンディングプライマーサフェーサー
NS260xをパネル全体に塗装。



フラッシュタイム:

15分以上最大8時間以内

* 使用するサフェーサーのTDSに従ってください。

MAZDA 46G 補修塗装工程ブロック塗装

・カラーマッチング精度を高める為、カラーベースはXB仕様、メタリックベースはAB仕様の特別な配合となります。



46G カラーベース塗装: センタリ®6000

コート間で艶が引くまでラッシュさせ2-3コートする

ベースコート	BK220	JAB/JXBシンナー
100	10	80



フラッシュタイム

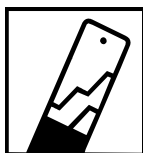
- ・ コート間: 艶が消える迄
- ・ タッククロス使用: 20分以上

MAZDA 46G 補修塗装工程ブロック塗装

・カラーマッチング精度を高める為、カラーベースはXB仕様、メタリックベースはAB仕様の特別な配合となります。

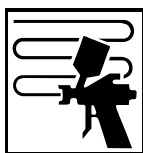


46G 第2ベース塗装: センタリ®600



ベースコートシンナー希釈: 300-400%

*希釈量が多いため、各コート毎に塗料を十分攪拌する。



塗装回数: 3-4コート

*薄く均一に塗装。ウェットに塗装すると粒子感が出てしまうため注意する。



フラッシュタイム

- ・コート間: 艶が消える迄
 - ・クイヤークロス前: 艶が消える迄
 - ・タッククロス使用: 20分以上
- *十分にフラッシュオフを行う。

【注意】

コート間でタッククロスを使用しスプレーミストを除去。

MAZDA 46G 補修塗装工程ブロック塗装

・カラーマッチング精度を高める為、カラーベースはXB仕様、メタリックベースはAB仕様の特別な配合となります。



清掃:
タッククロスでパネル全体のスプレーミストを除去



クリアー塗装:クロマックス® クリヤー
使用するクリアーのTDSに従いクリアー塗装。

2024年2月現在



MAZDA 46G

補修塗装工程 ボカシ塗装

クロマックス® センタリベースコート

AN AXALTA COATING SYSTEMS BRAND

MAZDA 46G 補修塗装工程ボカシ塗装

カラーマッチング精度を高める為、カラーベースはXB仕様、メタリックベースはAB仕様の特別な配合となります。



補修箇所:

プライマー/サフェーサー塗装後、乾燥。
サンディングを行いクリーニング。



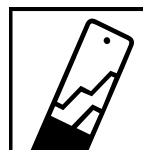
ボカシ箇所:

足付け研磨後、クリーニング。



ミッドコート塗装:

カラーベースボカシ部分へ均一に塗装。



XB165:JAB/JXBシンナ=1:1



フラッシュタイム:艶が消える迄。
高温時はフラッシュ不要。

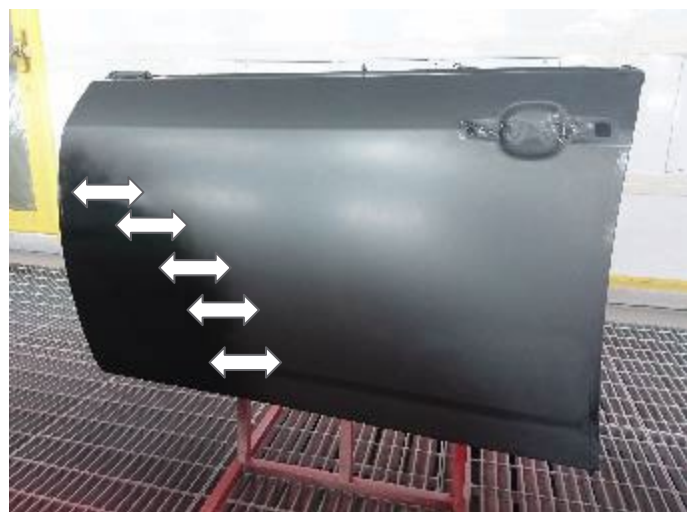
MAZDA 46G 補修塗装工程ボカシ塗装

カラーマッチング精度を高める為、カラーベースはXB仕様、メタリックベースはAB仕様の特別な配合となります。

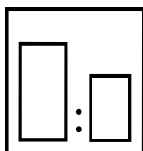


46G カラーベース塗装:センタリ®6000
補修箇所を2-3コートベースコートを広げながら塗装しフラッシュさせる。

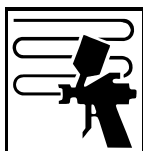
ベースコート	BK220	JAB/JXBシンナー
100	10	80



【オプション】:
46G カラーベースボカシ塗装:センタリ®6000
ボカシ部に薄く塗装。



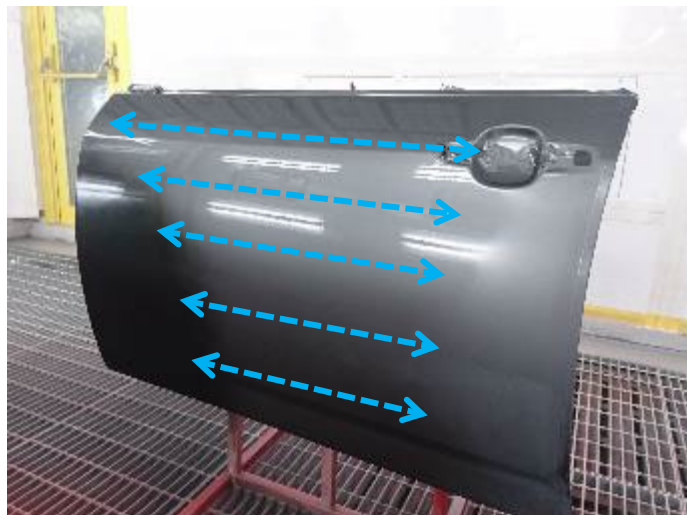
希釈済みベースコート塗料:ミッドコート=1:1



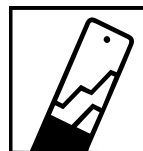
塗装回数:1-2コート

MAZDA 46G 補修塗装工程ボカシ塗装

カラーマッチング精度を高める為、カラーベースはXB仕様、メタリックベースはAB仕様の特別な配合となります。



ミッドコート塗装:
タッククロスで清掃した後、46G 第2ベースボカシ部分へ均一に塗装。



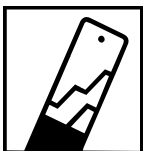
AB160:JAB/JXBシンナ=1:1



フラッシュタイム:艶が消える迄。
高温時はフラッシュ不要



46G 第2ベース塗装:センター®600
薄く均一に広げながら塗装。



ベースコートシンナー希釈: 300-400%
*希釈量が多いため、各コート毎に塗料を十分攪拌する。

MAZDA 46G 補修塗装工程ボカシ塗装

カラーマッチング精度を高める為、カラーベースはXB仕様、メタリックベースはAB仕様の特別な配合となります。



塗装回数:3-4コート

*エア圧は低目でオーバースプレーに注意し薄く均一に塗装。ウェットに塗装すると粒子感が出てしまうため注意する。



フラッシュタイム

- コート間: 艶が消える迄
 - クリヤーコート前: 艶が消える迄
 - タッククロス使用:20分以上
- *十分にフラッシュオフを行う。

【注意】

コート間でタッククロスを使用しスプレーミストを除去。



清掃:

タッククロスでパネル全体のスプレーミストを除去

MAZDA 46G 補修塗装工程ボカシ塗装

カラーマッチング精度を高める為、カラーベースはXB仕様、メタリックベースはAB仕様の特別な配合となります。



クリアー塗装:クロマックス® クリヤー
使用するクリアーのTDSに従いクリアー塗装。

SHINE ON.

CROMAX IS AN AXALTA COATING SYSTEMS BRAND

